

開港5都市景観会議

—新潟大会—

《開催報告》



日	時	平成8年2月3日、4日	(1996)
会	場	3日全体会議	佐渡汽船5階大ホール
		4日ワークショップW1	新潟市万代市民会館
		ワークショップW2	新潟ふるさと村
		ワークショップW3	新潟市万代市民会館
		ワークショップW4	万代シテイ「リターナ」
		ワークショップW5	新潟市万代市民会館
		全体総括会議	新潟市万代市民会館

開港5都市景観会議新潟大会実行委員会

目 次

	ページ
1 開港5都市景観会議新潟大会基本理念及びテーマ	1
2 開催日程概要	2-1
3 開催報告要旨	
(1) 全体会議	3-1
(2) 各都市代表者会議	4-1
(3) W1：ライトアップ分科会「ライトアップ・港町」	5-1
(4) W2：「開港5港」の祭り（人間が作る都市景観）	6-1
(5) W3：港まちの景観を考えるワークショップ	7-1
(6) W4：万代シティから万代島へ そして海へ	8-1
(7) W5：新潟の風「坂口安吾」とその周辺	9-1
(8) 全体総括会議	10-1
4 開港5都市景観会議新潟大会 全参加者名簿	11-1

1 開港 5 都市景観会議新潟大会基本理念 及びテーマ

基 本 理 念

北アルプスを源流とした大河、信濃川
尾瀬ヶ原を源流とした大河、阿賀野川
二つの大河に育まれた新潟平野
信濃川河口の堆積で形作られた自然河口港
そして北前船や黒船によるものや文化の交流をもたらした日本海の潮風と荒波
安政 5 年の開港を機に栄えた商都新潟
そんな環境と自然に育まれてきた新潟人の感性が、創り上げてきた生活感のある環境
と景観
都市化とともに、新潟らしさが埋没し、時は少しずつ新潟の風情を風化して行き、生
活者の心から潤いとかゆとりとかを奪い去っていく。
今、多くの人々が、多くの団体がそれぞれの「思い」で「新潟らしさ」の環境、景観
の創出に取り組んでいる。
その「思い」の情報を発信し、市民一人一人が環境景観に関心と自覚を持つことを期
待したい。

新潟大会基本テーマ

「港と一緒にになった都市、一体となった都市って何だろう？ 新潟らしさの提案」

新潟で、「水」や「港」についての思いを、まちづくり・景観づくりの思いを語ろう。
他都市の市民一人一人が主体的に、まちづくり・景観づくりに取り組んでいる姿勢を学
び、情報交換を通じて明日へのヒントを見つけよう。

2 開催日程概要

(1) 1日目の日程 平成8年2月3日(土)

① 見学会 他4都市関係者

13:00 新潟駅南地区、古町周辺地区他をバスで見学

14:30

② 全体会議 <佐渡汽船5階大ホール、会議室>

15:00 オープニング

・4港参加団体の紹介、主催者側団体紹介

・実行委員長挨拶

・来賓挨拶(新潟市都市整備局長 小菅 昭洋 氏)

・歓迎アトラクション(柳都踊り、松浜太鼓)

15:30 新潟大会オリエンテーション

・新潟紹介ビデオ

・新潟湊話(水辺の会代表 大熊 孝 氏)

・その他 新潟市都市景観賞のパネル展示による紹介

16:10 ワークショップの事前デモンストレーション

・ワークショップ主催4団体

16:30 復興神戸のまちづくりについて

・神戸参加団体代表の発表(丹羽 正 氏、浅木 隆子 氏)

16:30 各都市代表者会議(別室)

・次期開催地の決定 他

17:10 交流会

・アトラクション(万代太鼓)

17:40 1日目全体会議 閉会

※他4都市ライトアップ分科会参加者は夜景見学

18:30 懇親会(オープン企画)

A会場 ホテル新潟

B会場 篠田旅館

ライトアップ 異人池ハウス

(2) 2日目の日程

① 各ワークショップ開催 <各ワークショップ会場>

開始時刻	ワークショップ開催
9:05	W1 ・ライトアップ分科会 <万代市民会館 505研修室>
9:30	W2 ・「開港五港の祭り」 人間が創る都市景観 <黒埼町 新潟ふるさと村>
9:05	W3 ・港まちの景観を考えるワークショップ <万代市民会館 大ホール>
9:00	W4 ・万代島シティから万代島へ そして海へ <万代シティパーク「リターナ」>
9:05	W5 ・新潟の風 「坂口安吾」とその周辺 <万代市民会館 504研修室>

② 昼食 <東堀「ウイズビル」 越佐道楽 >

11:30~12:30

③ 全体総括会議 <万代市民会館 大ホール>

13:00 全体総括会議 開会

- ・各ワークショップの報告 (各開催者代表)
- ・4港代表の挨拶
- ・アピール宣言 (実行委員長)
- ・次期開催地発表及び引き継ぎ
- ・次期開催地代表の挨拶

14:15 閉会

全体会議 (3日) 開催報告要旨

開催日時	平成8年2月8日(土) 15:00~
開催場所	佐渡汽船5階大ホール



全体会議受付風景



新潟市都市景観賞応募展示



会場風景(ドリンクコーナー)



全体会議開催風景



アトラクション (柳都踊り)



アトラクション (松浜太鼓)

開港5都市景観会議新潟大会記録用紙

月 日	2月3日	会議・ワークショップ名	全体会議
-----	------	-------------	------

NO. 1

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
15:00	開会宣言開会 副会長 本間 龍夫	新潟大会は、「食の陣」と併せて開催されているので、そちらの方も楽しんでもらいたい。
15:04	実行委員会会長あいさつ 会長 栗間 道雄	思わぬ寒波に見舞われ、例年になく大雪の中、遠来された来場者に感謝する。 新潟は信濃川、阿賀野川の2つの大河と季節によって変化する日本海の豊かな恵みがもたらされている。 景観は、そこに住む人の生き方や個々のあり方が基本で、風土はその人達の感性から創られる。それがまちづくりにつながる楽しみでもある。 新潟大会は、先の神戸・長崎について第3回目、長崎の橋田会長から、第3回目は新潟との指名には驚き、かつ急な開会ではあったが、企画に全力を尽くした。 今回、会場の佐渡汽船は新潟の港を一望できるこの場所で、ドリンクコーナーの地酒を楽しんでほしい。 明日は5つの会場で各都市の思いを持った人達が集まりワークショップが開催される。重ねて発表等のごことについてもお願いする。
15:07	来賓あいさつ 新潟市都市整備局長 小菅昭洋 氏	安政5年に開港された函館、横浜、神戸、長崎、新潟の5つの都市の集いが開かれることは、なによりも喜ばしい。 今回の開催で、地元から14の市民団体が実行委員会を結成されたが、企画・運営などのその労に対し、心からねぎらうものである。 港と一体になった都市のまちづくりとは、どうあるべきかを函館、横浜、神戸、長崎のビッグな都市のまちづくり・景観づくりの取組をヒントに明日の新潟のまちづくりに生かしたい。 今後の活動に有意義で、更には、昨年、大震災にあった神戸を始め、多数の市民団体の参加に感謝し堅固な情報交換と交流を期待したい。 有意義な大会でありますように、同時に新潟らしい気候(雪)、酒、食、人情等も楽しんでほしい。 5港の発展を期待してあいさつを終えたい。
15:10	各参加団体の紹介	(各代表者 起立)
15:15	アトラクションの紹介	京都・東京に次ぐ伝統・格式のある新潟の芸妓は、全国で最初に株式会社の置屋として発足した。松浜太鼓は新潟の伝統を今に引き継いだ太鼓である。
15:38	新潟紹介オリエテーション	<ビデオ放映し、地元新潟の人にもより新潟を知ってもらうために新潟紹介のビデオを放映する。>

NO. 2

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
15:50	新潟湊話 新潟の水辺を考える会会長 大熊 孝氏	<p><新潟のまちの自然条件について説明> <新潟港と他港と相違点である河口港の説明> <河口港の問題点 スライド説明> 明治元年の開港から2年までに18隻の外国船が来航したが、入港できずに荷は舢舨で運んだ。 原因は、河川底の堆積された砂で、外国人の協力を得るが、改善しなかった。 明治12年に英国領事館の閉鎖とともに貿易港の役目を一時中断した。 堆積の原因は、広大な平野と荒川の存在がある。 かつては、阿賀野川・信濃川が合流し、背後に潟も多く存在し、水量の多さが幸いして、多くの北前船が行き来した。 結果、これによる経済圏も発展した。この他に夏の静かな日本海もこれの相乗効果となった。 徳川吉宗の時代、その命で干拓計画、せきで調整する放水路を作る。しかし、雪解け水で崩壊し、阿賀野川の水が、港に来なくなり以来水深が浅くなった。 かつて、市内を堀が通り、上野公園と並んで近代的な公園として誕生した白山公園は、弥彦・角田山を借景にした水の豊かな公園であった。 水量の多さは港にはいいが、渡る人にとっては、1kmの川幅は大変であった。 大河津分水の完成によって、水量が調整され川幅も狭くすることができ、兩岸の交流も活発化して、一体となった発展と経済活動ができることになった。</p> <p>。 景観を考えるときの重要なポイントはその土地がどう変化してきたかだが、山のない新潟は大河信濃川を活かすべきである。 建物・構造物は周囲の景色を引き立てるものであるかどうか重要である。 <日本三景のひとつ宮島の鳥居を例に説明し終了></p>
16:08	ワークショップ開催 団体の紹介、デモン -ション	<開催団体代表が明日のワークショップのデモン -レーションを行う。>
16:10	W1 ライトアップ 分科会 白田謙司	<p>かつて新潟に来た友人が帰り際に言った。「新潟は、食よし、人よしだが、文化の香りが無い。」という言葉が、この活動のきっかけに成っているかもしれない。 4港のよきアドバイスを受けつつ、新潟のライトアップを考えたい。分科会には内原智史の公園もあるので、是非とも多くの参加を期待したい。</p>
16:15	W2 開港5港の祭り 野口吉泰 他	人間が創る都市景観、祭文化がまちづくり、景観 づくりに果たす役割は大きい。互いに草の根の交流 による連帯を深めたい。
16:20	W3 港町の景観を 考える 高橋正良 他	明日は、にいがた花絵プロジェクトとともに、ロ ールプレイングゲームの演劇を上演し、普段の自分 と違う役を演じながら、まちづくりを語り考えたい 。今日我々が失ったものは？市民の声かどう反映さ れているのか、様々に語り合いたい。プライベート

NO. 3

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
		トで参加された横浜市役所の宮本氏は西洋人で出演 してくれる。
16:25	W4 万代シテイか ら万代島へ 山口拓郎	<p>新しいまち、万代シテイも解説20年を迎えた。 バスターミナルを中心とした万代シテイの現況 とウォーターフロント構想「ポートルネッサンス2 1」再開発の話をする。 明日は、4港のアドバイスをいただきたい。</p>
16:28	W5 新潟の風 坂口安吾とその周辺 齊藤正行	<p>市民映画館を運営している。そこに安吾の会の事 務局がある。 景観の中に、自然とハードと他にソフトがある。 抽象的だが、風というか坂口安吾を取り上げたフ ークショップとしたい。 安吾も食べた「おやき」を食べながら若月忠信の 講演のほか、語り合いを持ちたい。</p>
16:35	復興神戸のまちづく りについて 丹羽 正 氏	<p>神戸が震災にあってから1年、この話の場を設定 してもらい感謝する。 当初は、様々な情報が混乱し、救急医療体制の破 綻によるダメージも大きかった。 被害を大きくした原因の一つとして、地震による 生活空間がどう破壊するのか知らなかったことがあ げられる。 逆に幸いだったのは、人、ボランティアの活躍 総理大臣が来ただけの視察で残念であった。 全国からの現在も続いている支援の有り難さを痛 感している。 倒壊した建造物から今後学ぶこととして 道路の幅は広く/耐震と同時に免震性/構造物の 利点の利用/広場の確保/水の確保/その貯水方法 税金の使い道を考え、復興に割り当ててほしい。 <その他、文化的建物の被害・復興状況などについ て話があった。></p>
		スライドの上映説明
15:05	復興神戸のまちづく りについて 浅木 隆子 氏	<p>震災に寄せられた全国の多くの援助への感謝とお 礼を述べる。 今大会に多数の参加者と資料を携え参加できたこ との喜びがある。 幸いにして、北野地区は被害は少なかったが、修 理・復旧は免れない。 復興は予想以上に進み、公開異人館の約7割が現 在開館している。 文化的建物の市有利に募金活動が盛んに成るか と思われた矢先、地下鉄サリン事件で、神戸への世間 の関心が薄らいだようだ。 現在225件、1500万円の基金がたまったが 目標に達していない。 ナショナルトラスト・優遇税制措置で対応してい るが、杞憂再体制の共同化ができないことと、行 政のバラバラな対応に不満 神戸輪宇面に出向くことが自粛されているが、復 興の家庭も見てもらおうことが、支援の一つとらえ ているので、是非、来ていただきたい。</p>

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
		一番会のはしごのりの予定が延期されたそうだが再度要請したい。 神戸には、新潟の酒に負けない灘の酒とワインがある。はしごのり・はしご酒で楽しもう。
15:08	全体会議終了	<休憩>
	交流会	<長崎市 橋田 氏 乾杯>
	アトラクション	<万代太鼓>
15:45	交流会終了	



代表者会議開催風景



代表者会議開催風景



代表者会議開催風景



開港5都市景観会議新潟大会 代表者会議

日時 平成8年2月3日(土)午後16:30
 会場 佐渡汽船5階会議室(新潟市内)
 出席者 函館市: 浜島 國四郎、宇都宮 幸雄 横浜市: 鈴木 嗣麿、網河 功
 神戸市: 曹 英生、小西 阿佐男 長崎市: 橋田 克男、下釜 憲一
 新潟市: 栗間 道夫、本間 龍夫、斉藤 幸成、浅井 三郎、相田 幸一

議 事

1 あいさつ

開港5都市景観会議新潟大会事務局長(新潟市都市計画課長)あいさつ

2 各都市代表自己紹介

3 新潟大会アピール宣言文について

趣旨説明 この会議が、今は開港5都市や景観の切り口のネットワークで結ばれているが、新潟大会の実行委員会では、この会議が、いずれは「他の港」や「観光・港湾等」の別の切り口のネットワークをもっているものとの連携など、大きなものに発展することを願っている。

意見等 横浜代表他3港より、「開港5都市・・・の切り口にとらわれず」の表現が、5都市以外、景観以外も想定する表現なので、今のところは開港5都市に限定すべきではないかという意見がだされた。

まとめ 「開港5都市と景観」に限定したほうがよいという各都市のご意見だが、当新潟大会の想いを宣言するというので、この大会に限定したものとしてほしい。

4 開港5都市景観会議の規約案について

趣旨説明 会議が公式なものとなるため、新潟大会で会議の規約案を提案したい。初めての提案で、細かな検討が必要であり、ここで採択する必要はないが、この会議の位置づけをはっきりさせるため、いずれ規約を制定するので、検討願いたい。

まとめ 次回開催までを目処に、各都市で検討を加えながら制定を目指す。

5 次期開催地の決定について

開催地要請 当会議の次期開催地を函館市に願います。

要請了承 函館市代表の方が、了解する。
 開催予定は平成8年10月頃にしたい。

開港5都市景観会議 新潟大会

大会アピール

今、ここ新潟の地に、5つの開港都市の市民が集い、「港と一緒に都市、一体となった市って何だろう？」をメイン・テーマに、「水」や「港」についての思いを、さらに「まちづくり・景観づくり」への思いを語った。

そして、この語らいは、参加者自らの明日の「まちづくり・景観づくり」にヒントを与え、勇を与えたものと確信する。

この語らいの場を、今後のさらなる「まちづくり・景観づくり」の情報交換の場として育てるためには、より広範に多くの市民が集うことが必須と考える。

今、全国各地から、固有の歴史を大切に、個性ある「まちづくり」を進める市民団体の活動‘うねり’が聞こえてくる。

我々は、今後この会議が「開港5都市」や「景観」の切り口のみにとられず、「まちづくりを進めるより広範な市民団体のネットワークとなるよう努力すると共に、各々の地で、固有の歴史を大切に、個性あるまちづくりを自ら主体的に実践していくことを、ここに宣言する。

平成8年2月4日

開港5都市景観会議 新潟大会参加者一同

開港5都市景観会議規約（案）

（名称）

第1条 本会議は、「開港5都市景観会議」（以下「本会議」という。）と称する。

（目的）

第2条 本会議は、安政5年に開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸、長崎の5つの都市（以下「開港5都市」という。）の市民が、市民自ら主体的に、各々の歴史を大切に個性豊かなまちづくりを行うため、互いの情報を交換することを目的とする。

（構成）

第3条 本会議は、開港5都市のまちづくりを实践する市民団体でつくる各都市の連絡協議会等をもって構成する。

（事業）

第4条 本会議は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 開港5都市景観会議定期大会（以下「定期大会」という。）の開催
- (2) 情報の交換
- (3) その他

（定期大会の開催）

第5条 定期大会は、平成8年度に函館市で開催することとし、以後毎年、横浜市、神戸市、長崎市、新潟市の順に開催し、平成13年度以後はこの例により開催する。

（会長）

第6条 本会議を総理するため、会長を置く。

- 2 会長は、定期大会開催都市の連絡協議会等の長をもってこれにあてる。

（事務局）

第7条 本会議の事務局は、定期大会開催都市の連絡協議会等に置く。

(その他)

第8条 本会議は、まちづくりに係わる市民団体のより広範なネットワークづくりに努力するに、行政その他関係機関との連携を図るものとする。

附 則

本規約は、平成 年 月 日から施行する。

W1 ライトアップ分科会 「ライトアップ・港町」開催報告要旨

開催日時	平成8年2月4日(日) 9:05~
開催場所	新潟万代市民会館 5階 505研修室
開催団体	N I I G A T A光のイベント実行委員会/冬の新潟ライトアッププロジェクト実行委員会/LUNP 住 所 : 新潟市笹口1丁目2-2 新潟駅南開発(株) 白田 電 話 : 025(240)2500
目 的	1 「港を持つ4都市・新潟市のライトアップ」のあり方を考察する。 2 ライトアッププロジェクトのスケールアップ、パワーアップを図る。
開催の概要	1 他港4都市の関連招待者における昼夜視察 2 他港4都市のライトアップの現状・経緯の報告 3 新潟のライトアップの現状報告 4 港町新潟市のライトアップについての提言 講演: 内原智史デザイン事務所代表 5 質疑応答 6 総括



ワークショップ開催風景

本邦経済発展の原動力とならなかつたこと
が、このワークショップの目的である。この
ワークショップを通じて、各社が持つ
強みを認識し、互いに協力し
て成長していきたい。



ワークショップ開催風景

開港5都市景観会議新潟大会記録用紙

月 日 平成8年2月3・4日 会議・ワークショップ名 ライトアップ分科会

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
2/3 13:00 ∩ 14:30	市内見学	新潟の昼の顔と夜の顔を比較してもらうために、佐渡汽船乗り場→駅南けやき通り→昭和橋→県政記念館→市役所→西堀通り→NEXT21→ドッペリ坂→西海岸→郷土資料館→佐渡汽船乗り場のルートで観光バスに乗車の上市内見学を実施した。 (ライトアップ分科会以外の方も参加)
同 17:40 ∩ 19:00	夜景見学	ライトアップ分科会参加者にて、ジャンボタクシー等に分乗し昼間とほぼ同じコースを見学。昼間と違う点は、万代橋のライトアップ見学のため八千代橋を通ったことと、西海岸と郷土資料館まで回らなかったこと。また、内科医でありガラス工芸作家でもある高山龍一氏宅を訪問し、光源を内蔵した光るガラスのオブジェを見学させていただいた。
2/4 09:00	開会の挨拶	白田光りのページェント実行委員長より開会の挨拶
09:05	函館市都市景観課 宇都宮 幸雄 氏	ご存じのように、函館山から望む函館の街の夜景は世界の3大夜景の一つにも数えられると私たちは自負しているが、数ある函館の財産の中でもきわめて重要なものであると考えている。さらに街中に残されている数々の歴史的建造物（洋館や教会など）に対してライトアップを施している。また函館は坂の街であり、街中のいたるところから港を望むことができるが、青函連絡船をはじめとして港のライトアップや景観の整備にも力を注いでいる。

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
09:30	横浜市都市デザイン室 網河 功 氏	夜の都市を華やかに演出し、豊かな四季の表情を都市空間に与えるべく、1986年にヨコハマ夜景演出事業推進協議会を発足させ、実験的に横浜固有の資産である歴史的建造物12カ所のライトアップを行った。以後実験施設を常設化し、1993年度においては、実験施設と常設化施設を併せて官民の建造物等約40カ所のライトアップを実施している。横浜はどちらかというともともと暗い街であったので、ライトアップがとても映えた。横浜は函館・神戸・長崎と違い山の上から市内の夜景を一望する良いポイントがない為今までは下から見上げるようなライトアップが主流であった。 (新潟ほど真っ平らな街ではないが) しかし最近MM21等の再開発により、ランドマークタワーから市内の夜景を展望できるようになり、またベイブリッジや対岸の大黒埠頭の開発も整いつつある現在、街中の都市景観・ライトアップの整備から港の景観の整備へと重要課題が移ってきている。
09:50	神戸市アーバンデザイン室 小西 阿佐男 氏	(先の大震災の被害の説明等がまずあった) 都市景観ということについて考えると、今までは付け焼き刃的又は断片的に、素顔を良くせずにお化粧で見た目を良くしようといったやり方できていた。震災後の都市景観をどう作って行くかということでは、人工的なものを今の技術で自然に近づけると言うことを重視していきたい。ライトアップについても、建物を照らすと言うことだけではなく、原点が何かということをよく考えて見たい。人が演出するだけでなく自然が演出するもの、夜だけでなく昼の明り、たとえば教会のステンドグラスなど、今までと少し見方を変えて見たいと考えている。フランスのリヨンでは総合的なライティングプログラムをた

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
		てているようだが、私どもも神戸全体の光の明るさと色、都市の明り、街の明り、街角の明り、建物の明りそして人が演出する明りと言うような組み立て方で、この3月か4月頃までにプログラムを作り、復興時にこれを活かしていく予定でいる。
10:15	長崎市都市景観課 下釜 憲一 氏	長崎は夜景を楽しむ場所が数カ所あるが、各々特色を持っている。長崎のライトアップへの取組は、夜の街の活性化という視点から商工課の観光のセクションで行っており、平成5年度にライトスケープ計画を策定し、眠った状態になっていた歴史的建造物を引き立たせることを始めた。現在はグラバー園をはじめとした観光スポットのライトアップを数多く行っている。公共で所有している歴史的建造物だけでなく、民間所有の建造物のライトアップも行うべく、学識経験者を交えた協議会を設置し市民の方のご理解を得るように努力をしている。観光施設のライトアップなど点的な整備は観光のセクションで行っているが、街のランドスケープ、ライトスケープといった面的な整備は私どもも都市景観課で行っている。その詳細については平成8年度ないしは9年度に改めて調査を行う予定である。
10:45	NIIGATA 光の ページェント実行委員会 白田 謙司 氏	今年で8回目を迎えたNIIGATA光のページェントであるが、それまでは街路灯もほとんど無く真っ暗であった通りを、明るく安心感のある通りにしたいと有志が集まって始めた事業である。8年前の第1回目の時にはわずか100万円程の予算で、17~18本のけやきに電飾を施したところからスタートしたが、3年目より市から補助金をいただけるようになり、市民からの評価も高まってきて年々規模を拡大し、今年は870m程のけやき通りに

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
		ある全てのけやきに24万球のイルミネーションを施している。予算も1000万円をこえるまでになった。また市からは補助金だけではなく、けやきの木をライトアップする素晴らしい街路灯を設置してもらい、イルミネーションを施していない期間でもけやき通りの美しさを楽しむことができるようになった。今後は、鳥屋野潟へ続く南大通り（弁天線）にもイルミネーションを施していきたい。
10:55	冬の新潟 ライトアッププロジェクト 齋藤 幸成 氏	冬の暗い新潟をライトアップという手法で明るく楽しく活気のある街に変えていきたいという願いを持った有志が集まって、今年からスタートしたプロジェクトである。なにぶん初めて行った事業でもあり、企画立案・協賛金集め・準備実施に至るまで右往左往して苦労した。しかしながら多くの方から協力をいただき、市民の評価も概ね良好のようで、今年の実験を生かして次回はさらに素晴らしいものへと発展させていきたい。
11:00	講演 ライティングデザイナー 内原智史 氏	まず、西洋における街路灯に対するスピリッツについて考えて見たい。その昔西洋においては、夜外出するということはかなり危険な行為であった。おのおのの家が玄関先にランタンを下げ、それぞれの家が分担しあって危険な街路を照らすと言う考え方が街路灯をつくっていったのである。それが100年以上の歴史の中で、ガス灯から電気の街路灯へと発達して行く訳であるが、そのスピリッツをクリスマスツリー等の外部に向けて光らせる電飾に現在でも見ることができる。ここで私が申し上げたいのは、税金をつかって大きなプロジェクトが行われるときに、そこにそこで生きる人間のスピリッツがどのように反映されているのかということである。このことは今後、施策者やデザイナーが十分に考

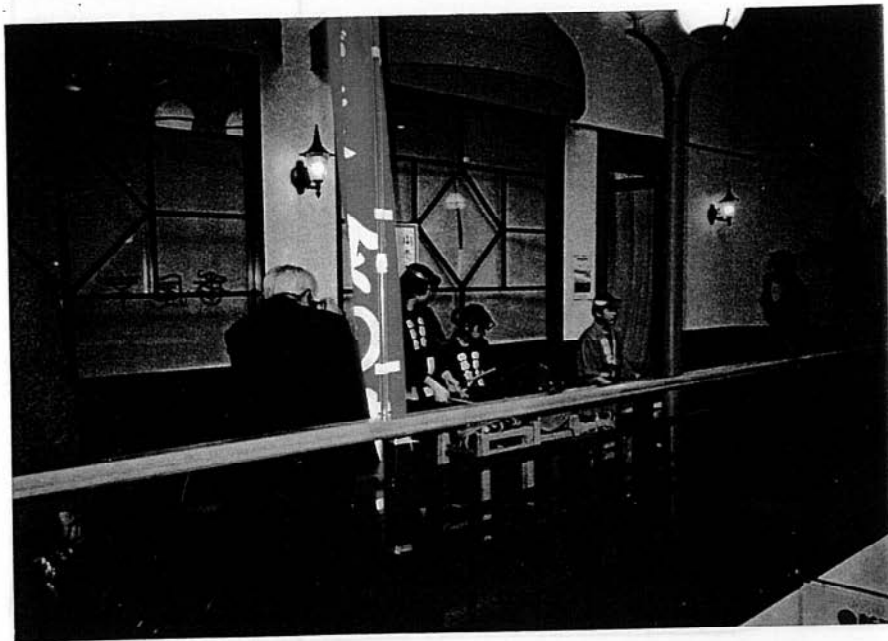
時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
		えなければならぬ点である。過去オイルショック時に街路照明を消したのは世界中で日本だけであったが、これは日本における街路照明の概念が商用看板照明と同じであるということであり、ただ目立てば良いと言った程度のものであった訳である。実は日本においても明りに対する思いというのは非常に強いものがあって、それは日本書紀や古事記に始まって、数々の文献において明りに関わる表現がいかにたくさんあるかといったことから理解できる。江戸時代の商家には家紋入の門灯を常夜灯として玄関に据え、灯を絶やさぬように門番がついていた。このように昔の日本には炎や明りに対してスピリッツを持っていたが、それが近年失われているように思う。私たちはこの日本古来より受け継がれてきた炎や明りに対するスピリッツをいかにして街の中に反映させていくのかということを考えて行かねばならないと思う。

W 2 「開港 5 港」の祭り (人間が作る都市景観)
開催報告要旨

開催日時	平成 8 年 2 月 4 日 (日) 9 : 3 0 ~
開催場所	新潟ふるさと村 (黒埼町)
開催団体	一 番 会 住 所 : 新潟市上新米町 5 丁目 1 6 - 1 4 野口方 電 話 : 0 2 5 (2 6 0) 1 2 0 3
目 的	祭りを通して現在と未来を語り合いながら、祭り文化における人的交流を図る。
開催の概要	1 他港 4 都市の祭りの現状と悩み、未来 2 新潟の祭りの現状と悩み、未来 3 新潟の祭りの未来と創造 4 質疑応答



アトラクション風景
新潟ふるさと村ホール



ワークショップ開催風景

開港 5 都市景観会議新潟大会記録用紙

月 日	2月4日	会議・ワークショップ名	「開港 5 港の祭り」人間が創る都市景観
-----	------	-------------	----------------------

NO. 1

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
9:30	歓迎アトラクション	◎はしご乗り・火太鼓
9:50	開会あいさつ	◎主催者代表 野口吉泰
9:55	他港 4 都市の祭りの 現状と悩み、未来	◎神戸市南京町都市景観形成協議会 黄 錦成 氏 <神戸港まつり、神戸海の盆まつり、他の祭りも 説明。> 10年前より始めた春節祭の出店用のプロパンガ ス等の施設が、大震災の時も早い立ち上がり役に 立った。
10:15		◎長崎市山手地区まちづくり団体 橋田 克男 氏 <まちなみの保存、長崎くんちの概要説明> グラバー祭→地域の祭りとしてドッキングして大き くする。
10:35		◎函館市元町倶楽部 村岡 武司 氏 <'95函館フェスティバル、函館五稜郭祭、市民創 作野外劇、高田屋喜兵衛まつり、函館港まつり、 函館夜景の日、函館湯の川温泉漁火まつりの説明 > 市民の熱気、市民創作イカおどりが受けている。
11:00		◎横浜市都市企画部調査課 秋元 康元 氏 横浜みなとと祭り= 国際仮装行列、その他市内で 多い月で 4~5 の祭りが行われている。 行政のタッチしないまつり、のも大道芸まつりな ど行政が後押ししている。

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
11:20		◎新潟市商工会議所 本間 哲也 氏 ＜新潟祭りについて＞ 見る祭りが見せる祭りか今後の課題である。
11:30		◎一般市民代表新潟シャインクラブ 田中 仁 氏 ＜新潟祭りの研究→参加し易いまつりへ＞
11:40		◎一般市民代表新潟 市民みこし 藤田 晋 氏 ＜まちづくりとまつり、寺社同志のむづかしさ＞
11:50	新潟の祭りの未来と創造	◎一番会代表 野口吉泰 ＜新しい祭りの創造＞ ＜春の祭り、「火消し祭どんつき」、夏の祭り「どんつき祭」＞ 市民主導で「100万人の観光客を呼べる祭り」を創ろうと12年、胎動から始動へ、21世紀へのメッセージ、祭りの基本である。
12:05	質疑応答	活力ある街は祭りが多く、祭りづくりはまちづくり、祭りの基本姿勢を学んだ。
		―― 昼 食 ―――
	総括	祭りは、市民主導で行政の後押しのある形が一番よいのではないか。 活力ある街は祭りが多く。

W3 港まちの景観を考える
ワークショップ開催報告要旨

開催日時	平成8年2月4日(日) 9:05～
開催場所	新潟万代市民会館 6階大ホール
開催団体	新潟の水辺を考える会／いがた花絵プロジェクト 連絡先住所：新潟市河渡2-2-8 株式会社 サザンウィンド内 連絡先電話：025-271-7515 FAX 025-271-1884 新潟の水辺を考える会世話人・編集鳥(長) 高橋正良
目的	1 新潟港は川港であり、商業都市として異文化の取り入れ口の役割を果たしてきた。 互いの都市との相違を明らかにし、個性を持った都市同士が景観を考えるための情報交換と交流を行う。 2 このワークショップを行うことにより、5港を懐かしみ、互いのまちづくりを通して、各都市の人的交流の提案などを含め具体的な今後の策を考える。



開港5都市景観会議新潟大会記録用紙

日	2月4日	会議・ワークショップ名	W3港町の景観を考えるワークショップ
---	------	-------------	--------------------

No. 1 / 4

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
9:10	高橋 正良	開会に先立ち、本日の流れを説明
9:11	開会挨拶・梶 瑤子	みなさんとまちづくりを考えたい
9:14	ロールプレイングゲーム第一幕	新潟湊と新潟のまち並みの成り立ちや歴史的経緯を出演者がディスカッションする。(シナリオ通り)
9:33	あいさつ・中矢 澄子	来場者、来港者へ歓迎のあいさつ
9:35	ロールプレイングゲーム第二幕	現在の新潟港や新潟のまち並みのかかえる問題点を浮かび上がらせるように出演者がディスカッションする。(シナリオ通り)
9:55	来場者の挙手によるアンケート・相楽 治	より良い新潟の景観づくりを考える際一番大きな問題となっていることは？ 1 自然や歴史的資産を大切にしなかった 20 2 近代的な便利さを求めすぎた 14 3 市民の意見を活かす仕組みがない 17 4 その他 ・選択肢の3にもあげたが、むしろ「市民が意見を持つ」という土壌がないところに問題がある。
	(神戸より)	すべてが問題となっていると思う。神戸でも市民の意見を反映させる仕組みがない。世代の違い、外国人が多いなど考え方に違いがある。いろいろな立場の意見をとらえる活動が必要。
	(横浜より)	選択肢の3にしようと考えたが、新潟のことは知らない。もっと一般の市民が凝られると思ったらそうでもない。新潟も、自然の観点で見ると緑が少ない、水が活かされていない。 横浜の歴史的資産について どんどん近代的な建物に流れていて、歴史的な物の保存や再生がされていない。新潟の影が薄いのでは、開港時、またそれ以前の魅力が残されていない、活用されていないと思う。
0:04	ロールプレイングゲーム第三幕 川村奉行	(シナリオはあるが、それにとらわれずにそれぞれの立場にたって自由にディスカッションする) 開港反対 自分のパートだけを見ている。様々な立場からの物の見方をしたらどうか。

開港5都市景観会議新潟大会記録用紙

月	日	2月4日	会議・ワークショップ名	W3港町の景観を考えるワークショップ
---	---	------	-------------	--------------------

No. 2 /

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
	(ロールプレイングゲーム第3幕) 行政	行政が市民の声を受け取った例もある。
	サケ	人工ふ化が進んだのはダムの増えたせいで、信濃川のように300kmものぼらないと泉のある産卵場まで行けない。人間が減びるとサケも減びるので、どうか減びないでください。 サケは人間に食べられるために戻ってくるのではない。しかたなくとられてしまったら、サケはすべてきれいに全て食べられるのだから、きちんと食べて欲しい。(塩引きサケの作り方も説明)
	カモメ	きれいな港にきれいなカモメが飛ぶ様子がいい。きれいになるとゴミが少なくなって暮らしにくいだが、多少我慢しても良い。
	チューリップ	まだまだ、まちづくりにはためらいがあるかもしれない。ちょっとだけプランターでなんてこと言わず、新潟駅半径5kmをチューリップで演出するくらいの意気込みが欲しいですね。
	マツ	自分の力で、仲間をたくさん増やしたい。
	ゴミ	ゴミも増えるといいなあ。歌が聞こえるようなまちをつくりたい。
	住民代表	これからの住民が奉行の役割を担うことになるだろう。住民が「個」の名前でまちづくりをしていく姿がこれからは必要。 堀を埋めたい、川をきれいになりたいというのは、市民の要求に、役所がこたえたというが、市民のこの意見はバラバラで、まとめていく機構が必要である。一辺倒の対応の仕方はこれからはないと思う。市民の意思を受け止め、活動する業界が出来て来てくると良い。 そうでないと、場あたりのなまちづくりになる。
	商人	企業が地域まちづくりに大きく寄与した事例があるアメリカのナイキがそうである。
	田舎のおじさん	そろえて美しく、みだれて楽しく。それが過ぎるとよろしくないが、少ないと魅力が出てこない。

開港5都市景観会議新潟大会記録用紙

月	日	2月4日	会議・ワークショップ名	W3港町の景観を考えるワークショップ
---	---	------	-------------	--------------------

No. 3 / 4

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
	(ロールプレイングゲーム第3幕) 外国人	セーナ河畔のマロニエのように並木が欲しいですね。
	ブルーノ・タウト	他門川の復活を考えている。アメリカ、サン・アントニオ市の様に
	イザベラ・バード	堀は今はないが、2つの大きな川がある。きれいにして、緑も多くして舟下りができるようにしたらいい。
	楠本正隆	130年前強権でまちづくりをした。それがたまたま市民から許される町となった。その130年前の体制をずっと続けてきているような気がする。いろいろな人が集まって町づくりをする仕組みを作りたい。このような機会を一過性の物にしたくない。
	川村奉行	江戸時代は土木技術力がなかった。水をめぐる住民たちの争い事があれば、それにゆだねたこともある。住民の争い、話し合い決着の付け方があった。
10:36	やすらぎ堤のお菓子紹介	
10:38	会場ディスカッション	
	(竜が島坂井さん)	60年暮らしているが、やっと港へ目を向けてくれたと思う。昔は新潟へ来ることを来港と言った。寸劇でどんな町でも住民の責任で出来ているのだと思った。
	(水辺を考える会山田さん)	新潟には信濃川だけでなく阿賀野川など多くの川があるが、活かされていないのが残念。ドーナツ化減少を食い止めて、駐車場だけの町にしないで、人のいる町にしたらいい。郊外へ施設が出来ているが、アクセスが悪い。 車で行けば良いのではないかというようなのは、子供が1人でいけない、行動範囲に入っていない。

月 日	2月4日	会議・ワークショップ名	W3港町の景観を考えるワークショップ
-----	------	-------------	--------------------

No. 4

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
	(会場ディスカッション) 新潟市 西山さん	新潟が突然に開港したのは、明治2年、運船所は5港のなかで唯一残っている。ほこりに思う。他は残っているか？
	横浜：	ない。県庁になっている。図面が分からず再建の予定も無い。
	神戸：	ない。明治2年の建築一市は重要な歴史的資産を活用して街をつくっていったと思う。
	新潟：	松林や砂丘がなくなっていく。都市計画は道路をつくったりするだけではない
	相楽 治	景観を考えた場合市民が集まりにくい理由は論点が絞りにくいことにある。 これから30年でがらりと変わる新潟、これだけは忘れないで考えようということを、このロールプレイングゲームで表現してみた。
	横浜	港から見た横浜を意識している。→シーバス、みなとみらい21
	ブルーノ・タウト	他門川の再生プランを紹介
11:14	ロールプレイ審査	ベストコスチューム賞：チューリップ ベストプレイ賞：ブルーノ・タウト
11:22	アンケート	ロールプレイングゲームはいかがでしたか？ 1 面白い 29 2 つまらない 0 3 どちらでもない 0 ロールプレイングゲームの組み立てについて 1 長すぎた 2 2 短すぎた 1 3 どちらでもない 15 ロールプレイングゲームの感想は？ 1 まちづくりについて考えさせられた 18 2 新潟の歴史を新しく知った 24 3 演技がうまかった 12 4 衣装が良かった 16 5 自分もやってみたい 4
11:25	開会挨拶・梶 瑤子	

W 4 万代シティから万代島へ そして海へ 開催報告要旨

開催日時	平成8年2月4日(日) 9:00~
開催場所	万代シティパーク 「リターナ」 新潟交通バスターミナル2階
開催団体	万代シティ商工連合会 住 所：新潟市八千代1-6-1 新潟交通 ㈱ 電 話：025-(246)-6425 FAX 025-(243)-6722 万代シティ事業部長 山口 拓郎
目 的	昭和48年、信濃川右岸の新潟駅と古町との中間に、一地元企業による、万代シティの新しい街づくりが開始された。 その後、より海寄りの地域”万代島”がポートルネッサンス21として、今開発されようとしている。 そして万代シティの現況とその将来、万代島の再開発の計画について報告を受け、4港都市の港と街づくりの現況報告とアドバイスを受けたい。
開催の概要	・4港都市の市民団体のまちづくり等の報告 ・万代シティのまちづくり(新潟交通 中野 進 氏) ・万代島再開発計画の説明(新潟県 熊倉 宗衛 氏) ・質疑応答など



ワークショップ開催風景



ワークショップ開催風景



ワークショップ開催風景

開港 5 都市景観会議新潟大会記録用紙

月 日	2月4日	会議・ワークショップ名	W4 万代シテイから万代島へそして海へ
-----	------	-------------	---------------------

NO. 1

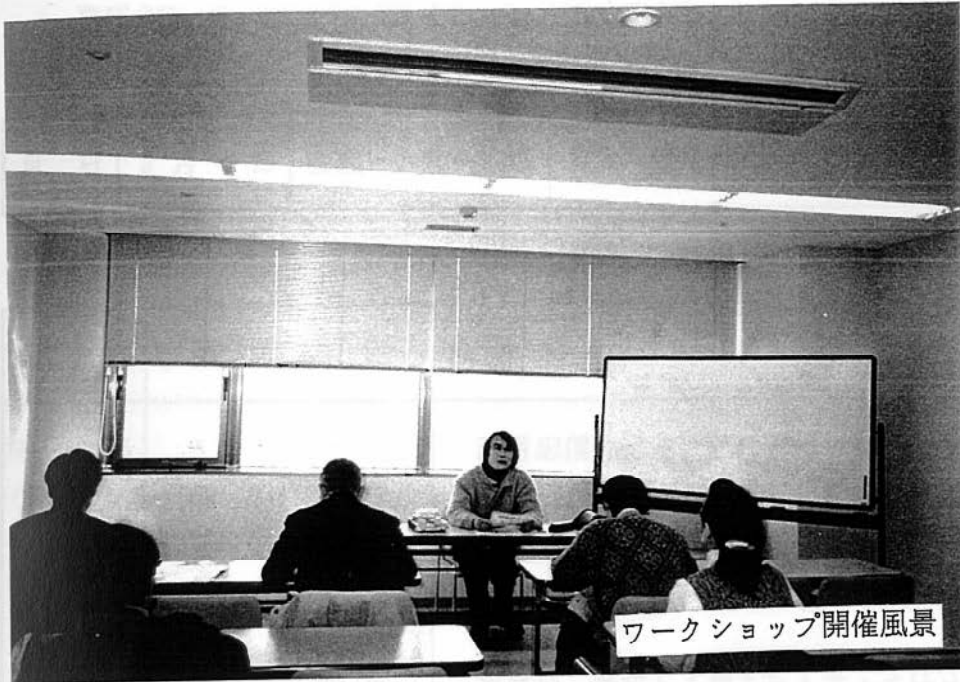
時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
9:00	万代商工連合会顧問 (新潟交通社長) 中野 進 氏	<p>◎あいさつ</p> <p>.....</p> <p><万代シテイの経緯と万代島について></p> <p>かつては、この万代シテイー帯は、葦原などの信濃川の谷地であった。その後、昭和30年代は当社関係の建物が多く、バス事業のまちだったが、昭和39年の新潟地震で潰滅的な被害を受けたのを契機に新しいまちづくりを目指した。</p> <p>バスの発着を一本化したターミナルを核としたまちづくり、新幹線の開業をにらんだまちづくりなど、古町と新潟駅の繁華街をつなぐ新しい商業地としてのまちにしようと、色々な方々の協力をえながら、今のまちができたきた。</p> <p>万代島の再開発は、国際交流施設などが計画されており、これが、新潟市のなかで一つのまちの役割を果たしてくれることを期待する。</p> <p>.....</p>
	函館 函館の歴史的 風景を守る会 浜島 國四郎 氏	<p><函館港の再開発=市民団体との係わり></p> <p>① 目に見える歴史的なものがなくなる危惧がありこの保存問題を契機に、函館の歴史的風土を学び理解し、守り、豊かなまちづくりの輪を広げようと、活動してきた。</p> <p>② 今の課題として、歴史的景観の保護や景観条例制定への発展を模索している。</p> <p>③ 市の住環境では、若い人達の流出による市街地のドーナツ化の対応が課題となっている。</p>

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
	横浜 馬車道商店街 山口 和昭 氏	<p><みなとみらい21構想と馬車道まち委員会></p> <p>①<みなとみらい21構想の概要説明 ></p> <p>②<馬車道まち委員会の発足と5ヶ年計画の説明> 現在、問題点の洗い出しなどの検討を行っている。</p> <p>③ 昭和48年～52年 第1次再開発 まちづくり協定を策定し、古い建物・歴史的な建物の保存と道路前面を2.5mの壁面後退を行い赤煉瓦歩道も整備した。</p> <p>④ まちづくり協定を策定するに当たっては、策定そのものの苦勞の他、条例との整合を図ることなど、苦勞が多かった。</p>
	神戸 旧居留地連絡 協議会 野沢 太郎 氏	<p><旧居留地の復興計画について></p> <p>① 旧居留地は、先駆的に西欧の都市計画の思想を基に、整然と区画割りされた町並みであり、神戸の中核業務地として百年余りその地位を保ってきた。</p> <p>② 7.1.17の震災後、復興に向けての動きが活発になり、6月に復興委員会を発足させた。 この中で、まちの将来像をつくるべきという論などがでてくる。</p> <p>③ この復興委員会の活動のなかで、企業間のコミュニティや人の交流の重要性を再認識した。</p>
	長崎市観光協会 陳 優継 氏	<p><アーバンルネッサンス2001></p> <p>① オイルショックから以後、造船のまちから観光のまちへの脱皮を目指す。</p> <p>② コンベンションの振興と街づくりと観光は一体で不可分の関係にあると思う。</p>

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
	新潟県港湾空港局 万代島再開発推進室 熊倉 宗衛 氏	<p>③ 歴史的なものなどの保存の重要性を、再認識した。(それが資源であり観光へとつながっていく。)</p> <p>④ 長崎市を語る新世代懇談会を発足させ、アーバンルネッサンスのハードとソフト検討、ソフト面は若い人の提言を求める。</p> <p>⑤ 今の課題として 3つのワークを提唱している < {ネットワーク} 緩慢な交流から緊張した交流へ > < {フットワーク} 静から動、受身から能動体へ > < {フィールドワーク} 見るから探すへ ></p> <p><万代島再開発について、配付資料により計画内容や整備スケジュールなどについて詳しい説明をおこなう。></p>
	一般参加 木村岩次郎 氏	<p><万代島構想への思い入れを語る。></p> <p>ハード面と自然の強調を行ってほしい。 橋と道路などの担当行政部署が異なる。また、環境との調和も図っていく必要があるので、綿密に各部署で協議を行ってほしい。</p>

W 5 新潟の風「坂口安吾」とその周辺 開催報告要旨

開催日時	平成8年2月4日(日) 9:05~
開催場所	新潟万代市民会館 5階 504研修室
開催団体	万代シティ商工連合会 住所：新潟市八千代2-1-1 シネ・ウインド内 電話：025-(243)-5530 FAX 025-(243)-5603 斎藤 正行
目的	新潟の景観を考える時、ハードの新潟ではなくそこにはソフトつまり新潟の空気、魂を表現したのもも景観の重要な構成要素となる。ここでは、都市の発展としては5都市共通の異端性を認識するために「坂口安吾」を取り上げる。
開催の概要	・講演 講師として、若月忠信(「資料 坂口安吾」の著者) ・「坂口 安吾」の食べたものの再現 他



参加者報告 当日は、御座りありがとうございました。

まず、安否ととりわけ関係の深い...



開港 5 都市景観会議新潟大会記録用紙

月 日	2 月 4 日	会議・ワークショップ名	W5 新潟の風 坂口安吾とその周辺
-----	---------	-------------	-------------------

NO. 1

時 刻	項 目	会 議 の 内 容 の 要 旨
9:05	<p>開 催 趣 旨</p> <p>参 加 者 報 告</p> <p>安吾と長崎の関係</p> <p>安吾と神戸の関係</p>	<p>若月忠信先生を講師に迎え、新潟の生んだ作家「坂口安吾」をキーワードに、景観と5港の関係が浮かび上がることが出来たらと、このワークショップを企画した。</p> <p>当日は、神戸から来られた方々を始めとして20名のご参加をいただいた。</p> <p>まず、安吾ととりわけ関係の深い長崎から話は始まった。</p> <p>安吾は戦前戦後2回、長崎を訪れているが、それは、安吾が日本史それも特にキリシタンに興味を持っていたからであり、天草や隠れキリシタンの地を訪れている。</p> <p>それと比べると、安吾が、神戸に行ったかどうかは確証が無い。</p> <p>「吹雪物語」は京都の伏見で書かれており、1年以上関西に住んで居たわけだから、あるいは足を運んだかもしれない。</p> <p>「吹雪物語」の女主人公、すみ江が、再起をかけて満州へ向かうが、船出の地を神戸としている。</p> <p>当時、新潟は満州航路が開かれていたのに、神戸か選ばれたのは、作品の中でも表現されているように「にぎやかな、華やかな」神戸を舞台にとしたため、鬱陶しい新潟の空を離れたかったのではないだろうか。</p>

NO. 2

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
	各都市のイメージの話題	<p>そういう意味で、長崎・神戸・横浜・函館の4都市には、エキゾチックなイメージがあるのに、なぜ新潟にはそれが無いのか問題にされた。</p> <p>「長崎のエキゾチズムと神戸のそれは、どう違うのか。」「長崎は、温暖でアジア的なものと西歐的なものがうまくチャンボンされている。」と、言う人、「神戸は硬質だが、洗練されており清潔感が高い。」と、語る人など参加の方々の話が進んだ。</p>
	=休憩時間=	10時過ぎ、安吾も食したという「おやき」タイムとした。暫し、休憩。
	安吾と横浜の関係	安吾は横浜との関係は薄い、小田原・伊東とのつながりが深い。
	安吾と函館の関係	<p>安吾は函館へは行っていないが、「吹雪物語」の原稿をあずけた人が、函館の人で、現在この自筆原稿は、函館市の図書館が管理している。</p> <p>ということで、安吾は函館市との関係を持っている。</p>
	新潟市民の問題提起	若月先生の話は、様々な方向に飛び、駄洒落が飛び交い、新潟の二葉町から参加した方から、二葉町140世帯の景観について問題提起されたりした。
	ワークショップのまとめ	<p>文学と結びついた景観は、長持ちするし、オーラを発するとする若月先生の話に、みんながうなづき神戸から参加された方から、谷崎潤一郎が晩年に住んだ神戸の例が示されたり、有意義な時が過ぎた。</p> <p>一見、文学と景観と結びつかないようだが、実は文学とは景観そのものであり、描かれた文学の風景は人の心に強い望郷の念までも呼び覚ます、という奥深い地点まで話が進み、ワークショップを終えることができた。</p>

全体総括会議（4日）開催報告要旨

開催日時	平成8年2月4日（日）13:00～
開催場所	新潟市万代市民会館6階大ホール



全体総括会議開催風景



来港者席

主催者

函館代表あいさつ



横浜代表あいさつ

開港5都市景観会議新潟大会記録用紙



神戸代表あいさつ



長崎代表あいさつ



新潟大会アピール宣言

月 日	2月4日	会議・ワークショップ名	全体総括会議
-----	------	-------------	--------

NO. 1

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
13:06	開会宣言	<開 会>
	各ワークショップの報告	<各ワークショップの報告を案内する。>
	W1 ライトアップ分科会 臼田 謙司	<p>反省点として、時間不足、5都市の方々とのコミュニケーション不足、参加人数が少なく、話し合いが少なかった、などがあげられる。</p> <p>横浜の例として、昨今では明暗が演出しにくくなってきている。</p> <p>まちの見え方を考えたライトアップの再考が必要</p> <p>神戸は震災を機に自然と共存する新しい神戸に期待したい。ポイントを押さえたライトアップ、屋間やステンドグラス等の利用も一考する。</p> <p>新潟のまちづくりに対し、4都市から参加された方々の貴重な意見に感謝する。</p>
	W2 5港の祭り 野口 吉泰	<p>時間を過ぎるほど盛況だった。</p> <p>神戸は、まつりの屋台に使用したプロパンガスが震災に役立った。祭りは人と知り合い地理をも汁粉とが、何かの時に役立など、まつりの意義を確認できた。</p> <p>函館は、雪のフェスティバル他、若者の新しい創作のまつりが生まれている。</p> <p>横浜は、毎日まつりがある。多いときは月に4・5回、市民が創った祭りを行政が後押しする体制。</p> <p>新潟は、昔からあった4つの祭りが一つになって新潟まつりになった。更に新しい祭りとして「どんつく」に尽力しており、頑張りたい。</p>

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
	W3 港町の景観を考 えるワークショップ 高橋 正良	<p>港町の景観づくりを目的とし、ワークショップでロールプレイングで提起、楽しみながら過去・現在・未来 住んでいる人、管理している人、様々な人から意見をもらった。</p> <p>神戸・横浜から意見が出たのに反し、新潟は少なかった。</p> <p>このワークショップが景観づくりのよいきっかけになれば良いと願う。</p>
	W4 万代シテイから 万代島へそして海へ 山口 拓郎	<p>4港からの参加に感謝する。各都市の開発や函館の再開発には、歴史を踏まえた自然と緑を活かす工夫がある。</p> <p>横浜は、「みなと21」5ヶ年計画の中、自然の保全と横浜らしさを大切にしている。</p> <p>神戸は昨年の震災を機に、まちの将来や地域のコミュニケーションを大切にしながらまちづくりが進行している。</p> <p>長崎は、アーバンルネッサンスの展開において、コンベンション観光、文化財保存、ネットワーク、フットワークなどをテーマに推進している。</p> <p>当新潟は、中野進社長が万代シテイの現状と将来について語り、伊勢丹・ジョイポリスなど新しい活気を発信している。</p> <p>その他、新潟県の方から万代島再開発の計画の説明をしていただいた。</p>
	W45 新潟の風 坂口 安吾とその周辺 鈴木 良一	<p>「資料坂口安吾」の著者の若月忠信氏の講演を聞きながらの考えたことを話したい。</p> <p>文学は魂、をキーワードに語られた。</p> <p>安吾と長崎の関係で隠れキリシタンを調べていたことの話があった。</p> <p>安吾と神戸の関係では、神戸が小説の中に登場してきている。</p> <p>函館は、「吹雪物語」の原稿が保存されているな</p>

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
		<p>ど、各都市と安吾の関係について語った。</p> <p>安吾も食べた「おやき」を食しながら、文学の魂が生まれるなち・人について話がでるなど、活発なワークショップになった。</p>
	各都市代表者のあい さつ	<各代表者を紹介>
	函館市代表 浜島國四郎 氏	<p>次回会議は函館で開催を決定した。この会議は第3回新潟大会で本格的に動き出したという手応えを感じている。</p> <p>都市の中心は市民であるということを本会で痛感した。この想いを引き継ぎ5都市にこだわり、素晴らしい第4回函館大会が開催できるよう努力する。</p>
	函館市代表 鈴木 嗣麿 氏	<p>神戸を始め、4都市から大勢の人の参加に感動した。</p> <p>景観・まちづくりは本当を言えば50～100年かかる大事業である。</p> <p>同時に、今大会に尽力した14の市民団体のパワーに敬服する。</p>
	長崎市代表 橋田 克男 氏	<p>新潟大会に尽力した方々への労をねぎらい、震災復興に大変な中、参加した神戸の方に激励を送る。</p>
	神戸市代表 丹羽 正 氏	<p>これほど多くの市民が集まった会は初めての経験 神戸は全てのワークショップに参加した。</p> <p>神戸の災害に対し、4都市から受けた様々な激励に心から感謝する。</p> <p>新潟は、信濃川・阿賀野川ふたつの大河を活かしたまちづくりを目指してほしい。</p> <p>また、春の高校野球選抜大会に新潟から参加する</p>

時刻	項目・発言者等	会議・発言・項目等の要旨
		<p>明訓高校を応援に神戸のほうに来るときは、是非とも、新潟の花（チューリップ）の球根を持ってきて欲しい。</p> <p>神戸の発案で発足した景観会議の益々の発展を祈念する。</p>
	<p>新潟大会アピール宣言 当実行委員会会長 栗間 道雄</p>	<p><アピール宣言を読み上げる。></p> <p><次期開催地函館代表への引き継ぎ></p> <p><両代表握手をかわす。></p>
	<p>次期開催地函館代表 引き継ぎのあいさつ 浜島國四郎 氏</p>	<p>次期開催の抱負として、市民の方が集まった新潟大会を参考に、5都市の中では最も小さい函館ではあるが、大会成功に向けての決意を新たにしている。かつて、函館には外国人居留地があり、その面影を残している。</p> <p>西洋館、教会など異国文化の香る建築物と和の調和するまちなみである。</p> <p>その昔新潟とは北前船が往来する交流があった。有名な夜景の美しさも堪能してほしい。</p>
	<p>閉会宣言 当実行委員会副会長 斉藤 幸成</p>	<p>2日間に渡って盛大に行われた都市景観会議新潟大会が無事終わろうとしている。</p> <p>5都市の皆さんの労をたたえて、閉会する。</p>

